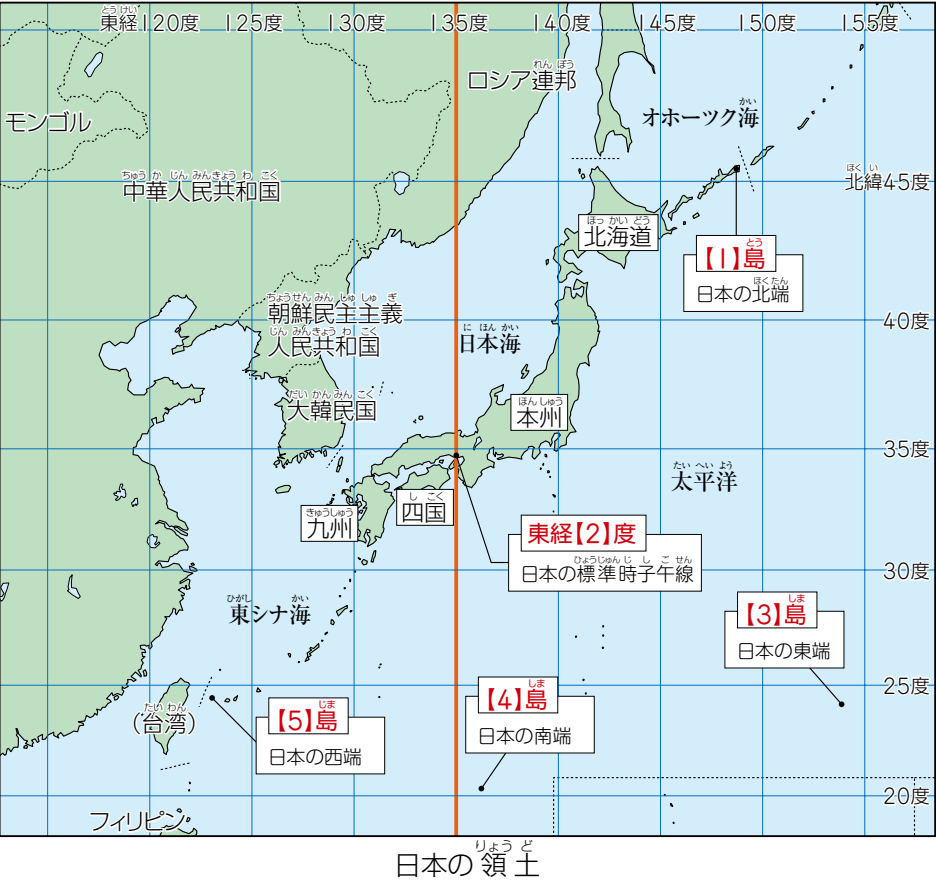


1

日本の位置



日本は、東アジアにある面積約 38 万km²の国です。その国土の様子を見ていきましょう。



関連 ➡ 88ページ 日本と周りの国々

日本は、北海道・本州・四国・九州の4つの大きな島と、多数の小さな島々からなる島国で、日本列島の長さは約 3000 kmにおよびます。

日本の東西南北の端

日本の東西南北の端	島の名前
日本の東端（東経 154 度）	[3] 島（東京都）
日本の西端（東経 123 度）	[5] 島（沖縄県）
日本の南端（北緯 20 度）	[4] 島（東京都）
日本の北端（北緯 46 度）	[1] 島（北海道）

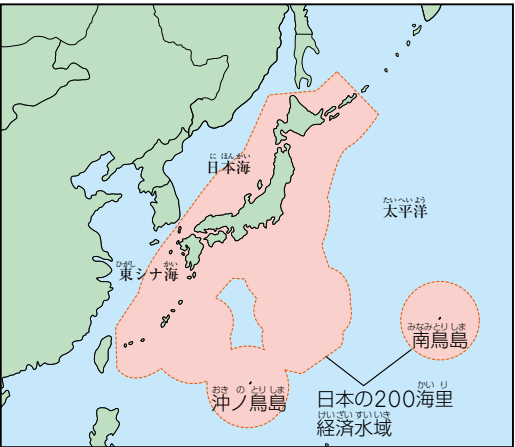
日本の標準時子午線である東経【2】度線が兵庫県明石市を、北緯 40 度線が秋田県の【6】半島・八郎潟付近を通っています。

日本は数多くの島をもっているため、国土面積のわりに海岸線が非常に長く、また、200 海里経済水域も非常に広い国です。

日本の南端にあたる【4】島はたいへん小さな島ですが、この島があるために、たいへん広い面積の海域が、日本の 200 海里経済水域となっています。

日本付近には 4 つのプレートが集まっており、プレートの境界付近ではしばしば地震が起きます。

日本の東方沖には北アメリカプレートと太平洋プレートがぶつかる境界があり、それに沿って日本海溝（最大水深 8000 m 以上）が延びています。平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）の震源もこの付近でした。また、ユーラシアプレートと北アメリカプレートの境界が通る本州中央部の大地溝帯を【7】といいます。【7】の西端を【8】構造線といいます。



日本の 200 海里経済水域



日本付近のプレート

ポイント 主な島を覚えよう！

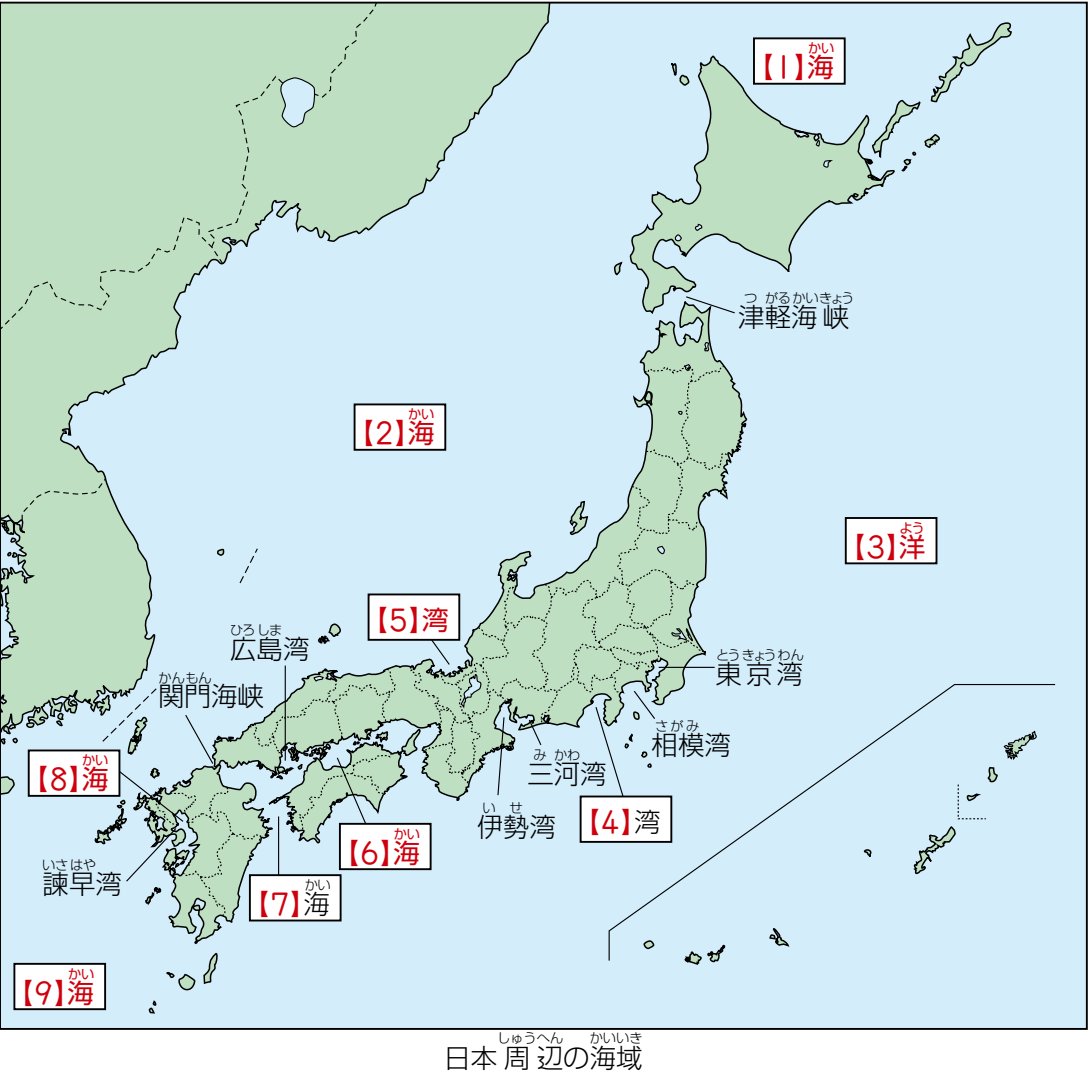
- 日本の東西南北の端…南鳥島・与那国島・沖ノ鳥島・択捉島

入試ではここが問われる！

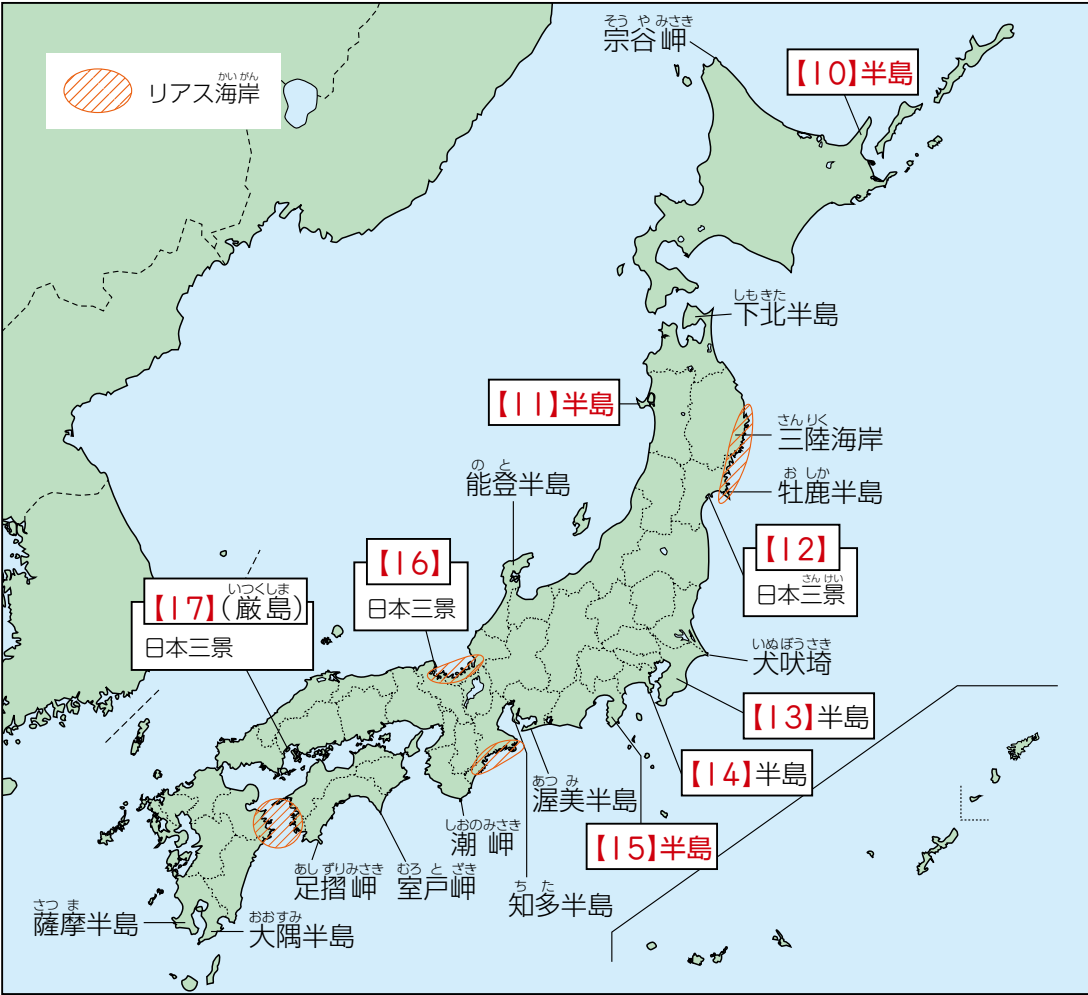
- 東アジアの地図を示され、日本の東西南北の端にあたる島の名前が問われます。
- 都道府県を判定する問題で、地図中に示された緯度や経度がカギになる場合があります。
- 地震に関する問題で、地図中のプレートや海溝の名前が問われます。

2 海と海岸

日本は海に囲まれた島国です。湾や半島は特徴的な形をしているため、出題されやすいポイントです。



主な海域	特徴
[5] 湾	原子力発電所が多数立地する。リアス海岸。西部に天橋立。
広島湾	海産物のかきの養殖がさかん。
宇和海	真珠やぶり類の養殖がさかん。リアス海岸が見られる。
[8] 海	のりの養殖がさかん。干潟が広がる。諫早湾干拓問題。



日本の半島や海岸の地形

主な半島	特徴	主な半島	特徴
[10] 半島	世界自然遺産	[11] 半島	北緯 40 度, 東経 140 度付近
[14] 半島	近郊農業	[15] 半島	温泉が多く観光業が発達
知多半島	中部国際空港	渥美半島	電照菊やメロンの栽培

ポイント 湾や半島の形と位置, 名前, 特徴をセットで覚えよう!

- 原子力発電所の立地, リアス海岸, 天橋立…若狭湾
- 世界自然遺産…知床半島

入試ではここが問われる!

湾や半島の名前を問う問題がよく出されます。湾や半島の形は, 都道府県の形からその名前を答える問題のカギになります。

3

山と山脈



日本は島国ですが、平地が少ない山国であるという特徴もあります。気候や災害の発生にも大きく関係している山や山脈について見ていきましょう。



関連 ➡ 18 ページ 日本の気候区分

日本の国土は山がちで、北海道・本州・四国・九州の各島の中央部には高い山や山地、山脈があります。また、火山が多い国でもあり、近年では北海道、伊豆諸島、九州地方などで火山災害が発生しました。

標高 3000 m 以上の山は、【7】山脈・【9】山脈の一部と、【6】山だけです。【2】山脈・越後山脈・中国山地・四国山地などは、気候を分ける境界線です。

標高が高い山、山脈、山地

名前	特徴
【6】山	山梨県と静岡県にまたがる日本の最高峰（標高 3776 m）。噴火の記録が数多く残る火山でもある。
【7】山脈	北アルプス。火山も多い。
【8】山脈	中央アルプス。林業がさかん。
【9】山脈	南アルプス。日本で 2 番目に高い北岳がある。

各地方の主な火山

地方	名前	特徴
北海道	有珠山	2000 年に噴火。1940 年代には、周辺の平地が盛り上がり、昭和火山ができた。
関東・中部	【3】山	江戸時代到大噴火。山麓でキャベツの抑制栽培。
	【5】岳	山麓の【14】でキャベツやレタスの抑制栽培。
九州	【12】岳（普賢岳）	1991 年に噴火し、火砕流による大災害を起こした。そのときに平成新山ができた。
	霧島山（新燃岳）	2011 年に噴火。火山灰などにより、農業や観光業に大きなえいきょうが出た。
	【13】	鹿児島湾の島だったが、1914 年の噴火で大隅半島と地続きになった。現在も活発な火山活動を続ける。

ポイント 地名と位置を覚えよう！

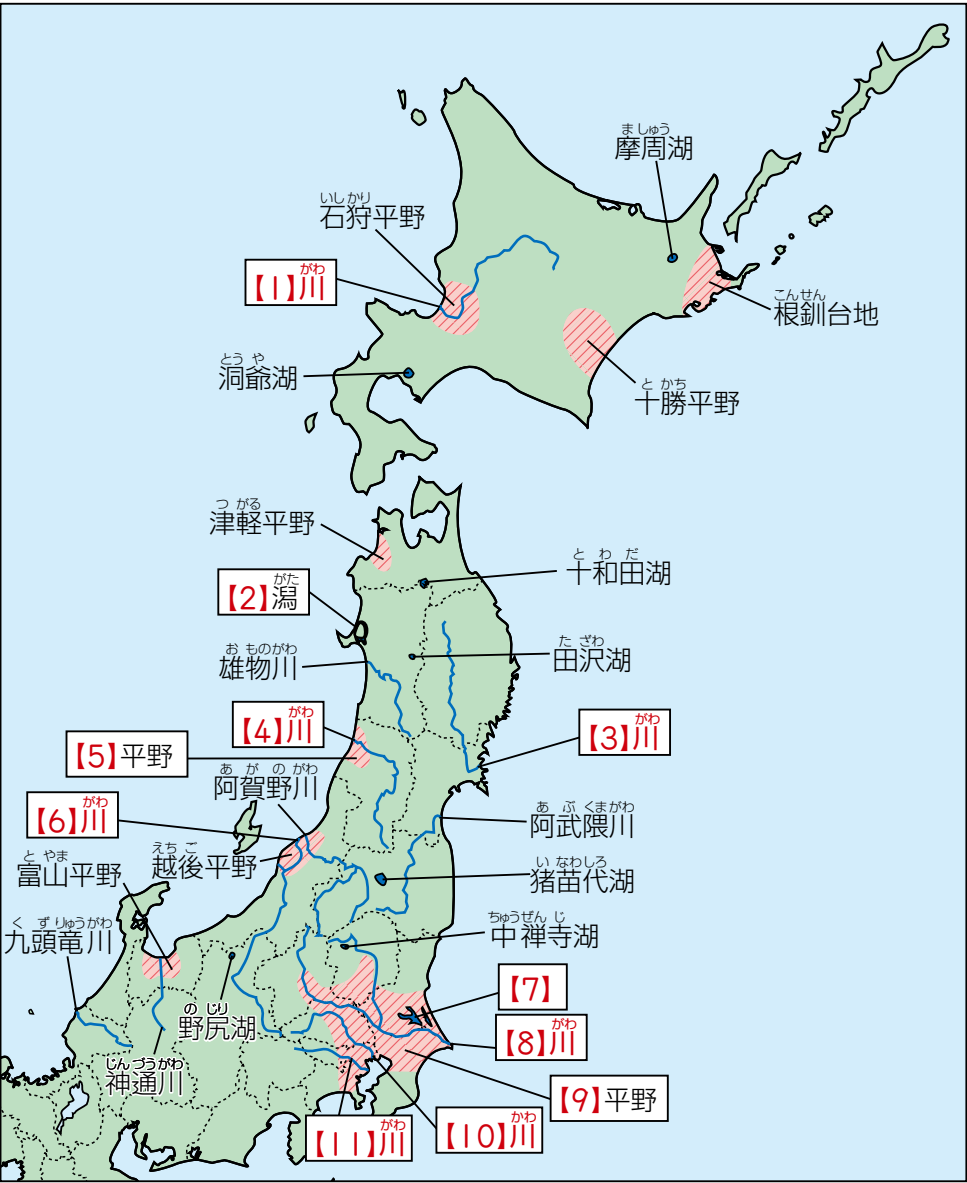
- 標高が高い山と山脈…富士山・日本アルプス（飛騨・木曽・赤石山脈）
- 活発な火山…北海道・伊豆諸島・九州地方に多い

入試ではここが問われる！

- 地図中に示された山や山脈の名前を問われます。
- 山や山脈がまたがる都道府県名を問われることがあります。
- ある直線に沿った日本列島の断面図を題材にした問題が出されることがあります。山や山脈のほか、平野、盆地などの位置関係の理解が求められます。

4 東日本の川と平野，湖

豊富な水を得られ、また、土地が平らであるため、川沿いや平野には都市や産業が集中しています。まずは、北海道・東北・関東地方と中部地方日本海側の川と平野，湖などを見ていきましょう。



東日本の川と平野，湖

長さが日本一の川は【6】川で、長さは約367kmです。2番目に長い川は【8】川で、【8】川は流域面積の広さが日本一です。3番目に長い川は【1】川です。

東日本の主な川

主な川	特徴
【1】川	下流の石狩平野は、土地改良を行ったことで稲作地帯となった。
【3】川	岩手県・宮城県を流れる。東北地方で最も長い川。
【4】川	山形県を流れる。下流の【5】平野は代表的な稲作地帯。
【8】川	【9】平野を流れる。茨城・千葉県境をなす。
【11】川	山梨県から東京都を流れる。下流では東京都・神奈川県境をなす。 【8】川・荒川とともに、関東地方の都県の水がめ。
【6】川	長野県・新潟県を流れる。長野県内では千曲川という。下流の越後平野では、水はけをよくするための土地改良がなされた。

東日本の主な湖

主な湖	特徴
洞爺湖	北海道のカルデラ湖。2008年に周辺でサミットが開催された。
十和田湖	青森・秋田県境のカルデラ湖。2つの半島がある特徴的な形。
【2】湖	かつては日本で2番目に広い湖だったが、大部分が干拓された。
田沢湖	秋田県のカルデラ湖。深さは423mで日本一。
【7】	茨城県の湖。現在、日本で2番目に広い湖。

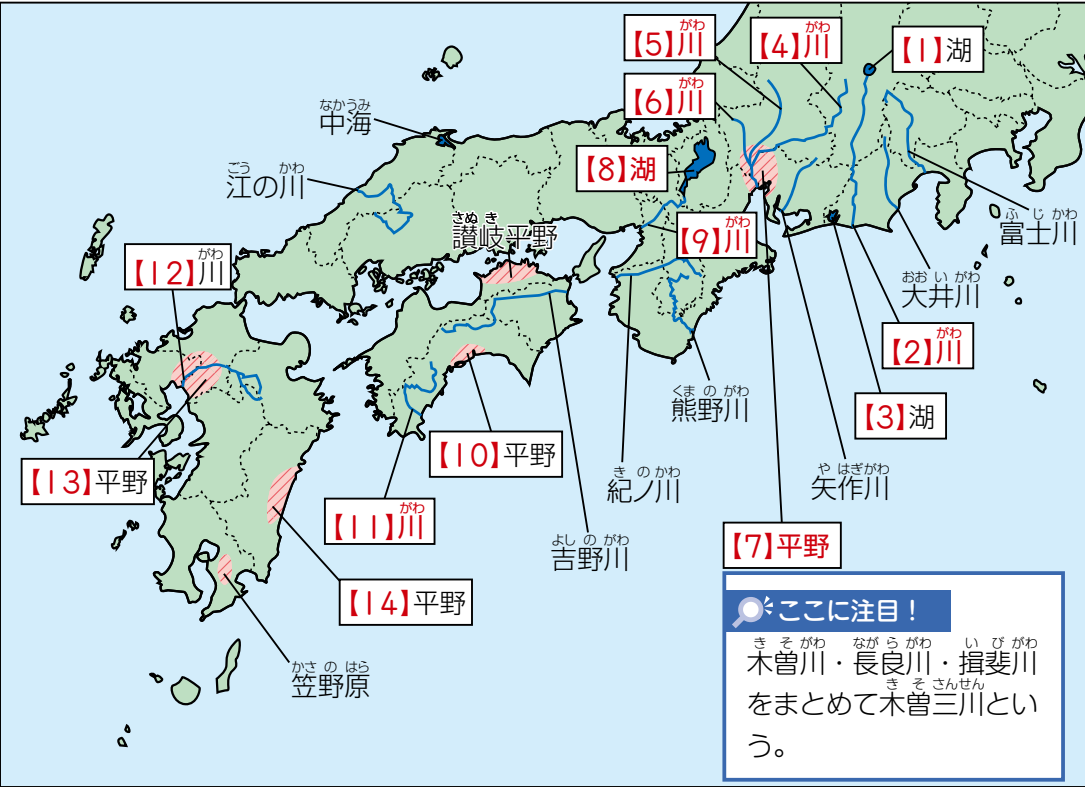
- ポイント** 地名と川の流路を覚えよう！
- 長い川…1位－信濃川，2位－利根川，3位－石狩川
 - 稲作地帯…石狩川－石狩平野，最上川－庄内平野，信濃川－越後平野

入試ではここが問われる！

- 地図中にえがかれた川の流路をもとに、その川の名前や、流れている地域（都道府県名や平野名）が問われます。
- 川の流路を選ぶ問題もあります。河口や、水源となる地域のおおまかな位置を覚えておく必要があります。

5 西日本の川と平野，湖

中部地方太平洋側と、近畿・中国・四国・九州地方の川と平野，湖などを見ていきましょう。西日本には、東日本ほど長い川はありません。



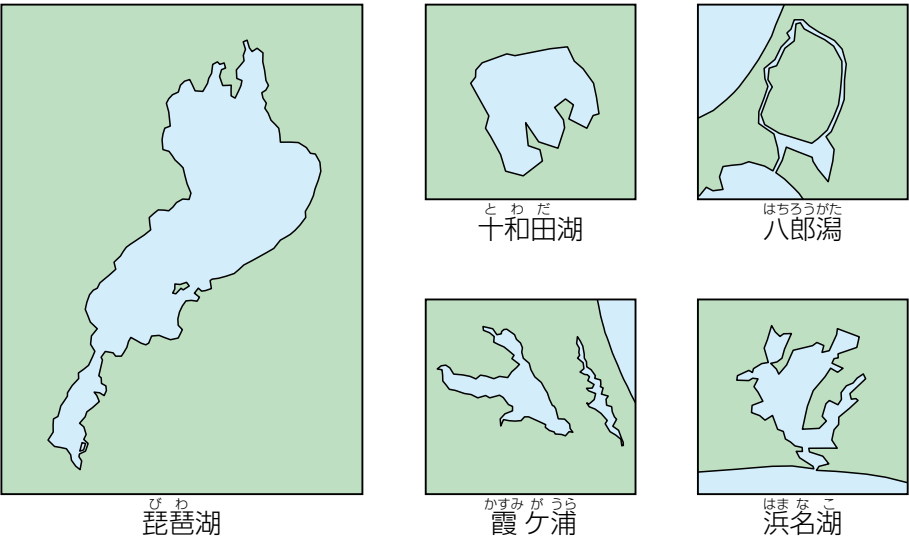
西日本の川と平野，湖

主な川	特徴
富士川	急流で有名。静岡県内では川の東西で電源の周波数がことなる。
[2] 川	[1] 湖から流れる。豊川用水（愛知県）の水源の1つ。
[4] 川	上流は木曾ヒノキの産地。
[5] 川	本流にダムがなく、清流や鵜飼で有名。
[9] 川	[8] 湖から流れる。上・中流では瀬田川・宇治川とも呼ばれる。
吉野川	高知県から徳島県を流れる。四国地方東部の水がめ。
[11] 川	高知県西部を流れる。日本最後の清流ともいわれる。

西日本の主な平野・台地

平野・台地	特徴
[7] 平野	木曾三川が流れ、輪中が見られる。
讃岐平野	降水量が少なく、大きな川がないことから、ため池が発達。
[10] 平野	温暖な気候を生かした野菜の促成栽培で有名。
[14] 平野	
笠野原	火山灰におおわれたシラス台地。畑作・畜産がさかん。

[8] 湖は面積が日本一の湖です。主な湖のうち、特徴的な形のものを覚えておきましょう。なお、東日本であつかったものもふくまれています。



ポイント 地名と川の形を覚えよう！

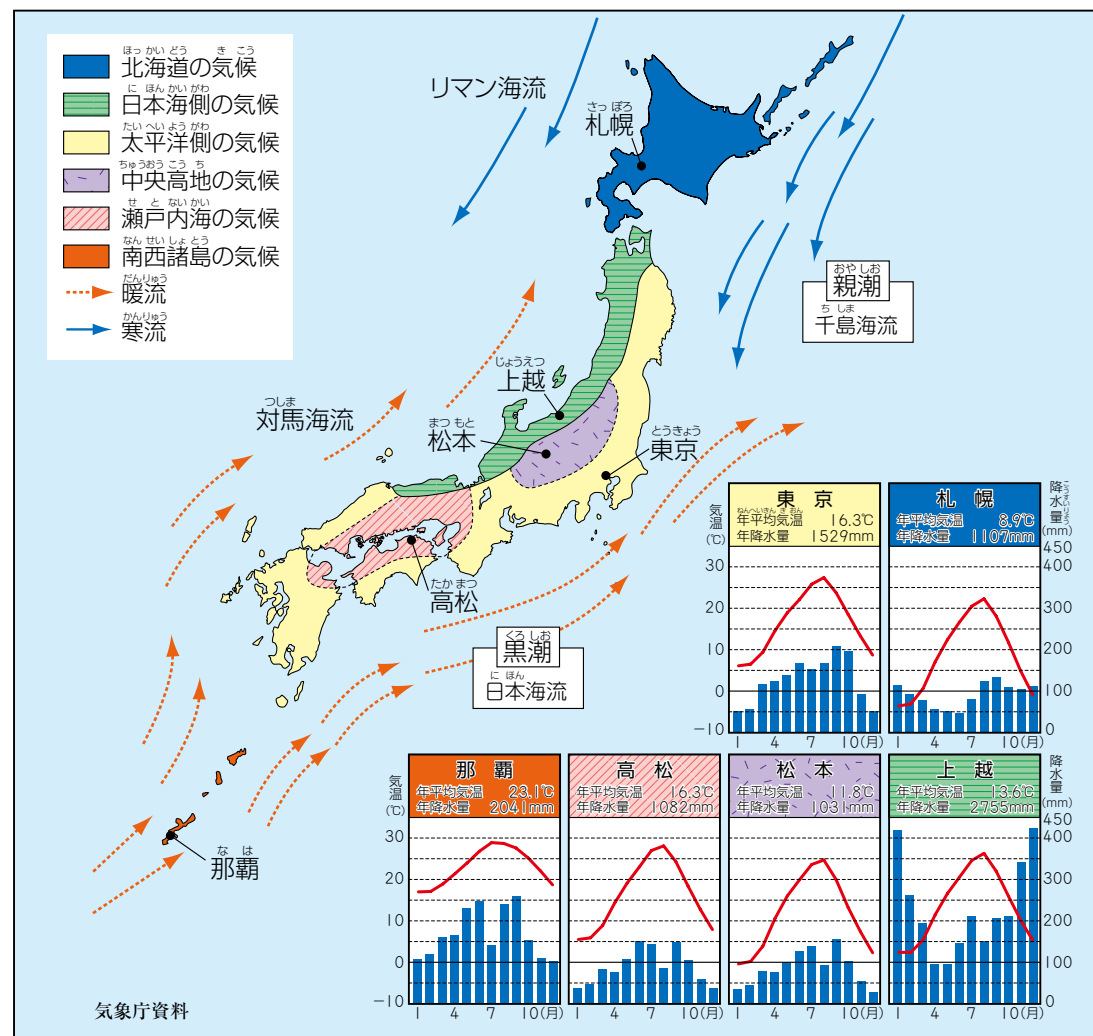
- 木曾三川…木曾川・長良川・揖斐川
- 近畿地方の水がめ…琵琶湖と淀川

入試ではここが問われる！

- 地図中にえがかれた川の流路をもとに、その川の名前や、流れている地域（都道府県名や平野名）が問われます。
- 川の流路を選ぶ問題もあります。河口や、水源となる地域のおおまかな位置を覚えておく必要があります。
- 湖の形から名前を問う問題や、湖の名前から形を問う問題もあります。



気温の高低や変化、降水量の多い時期のちがいなどによって、日本の気候は大きく6つに分けることができます。それぞれの特徴を見ていきましょう。



日本の気候区分

関連 ➡ 12 ページ 日本の山と山脈

日本列島の北に位置する【1】は、夏でもすずしく、冬はかなり寒冷です。また、梅雨や台風のえいきょうをあまり受けず、降水量は年間を通して少なめです。

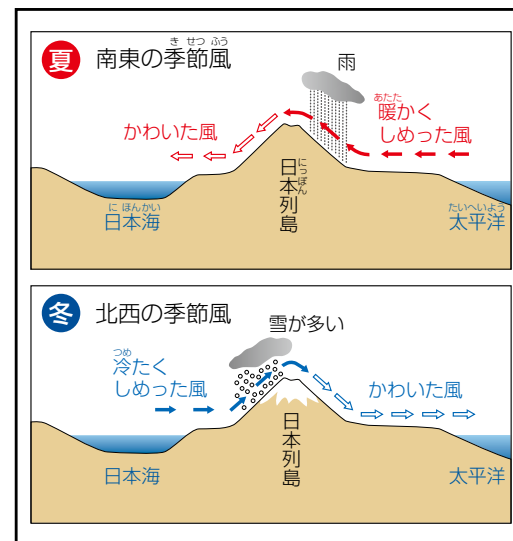
日本列島の南に連なる沖縄島などの【2】は、年間を通して比較的気温は高く、また、夏から秋にかけて、台風のえいきょうを強く受けることもあって、降水量が多い傾向が見られます。

【3】の夏はしめった南東の季節風のえいきょうを強く受けるため、たいへんむし暑く、降水量が多いのが特徴です。【4】の冬は北西の季節風のえいきょう

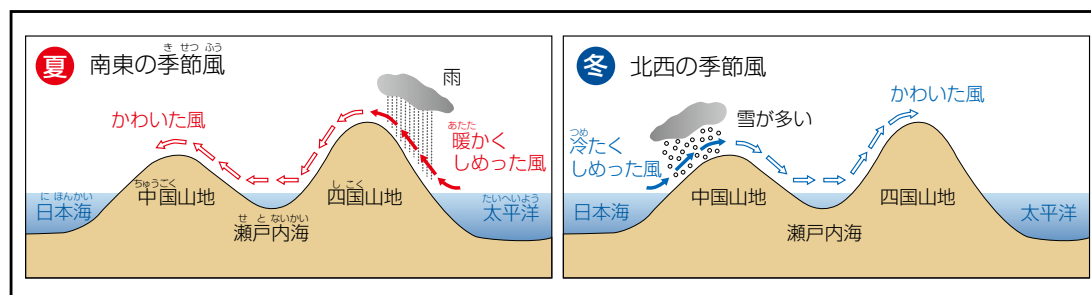
を強く受けるため、大量の雪が降り、降水量が多くなります。雨や雪をもたらすしめった風は、山地・山脈をこえるとかわいた風になるため、【3】の冬は晴れた日が多く、降水量は少なめです。また、【4】の夏は暑くて晴れた日が続きます。

山に囲まれた【5】は、季節風のえいきょうを受けにくく、年間を通して降水量は少なめです。夏と冬の気温の差が大きいという特徴があります。

【6】に面した地域は、南の四国山地と北の中国山地にはさまれているため、季節風のえいきょうを強く受けません。雨や雪はあまり降らず、晴れた日が続く、年間を通して温暖な気候です。



夏の季節風と冬の季節風



中国・四国地方の山地と季節風の関係

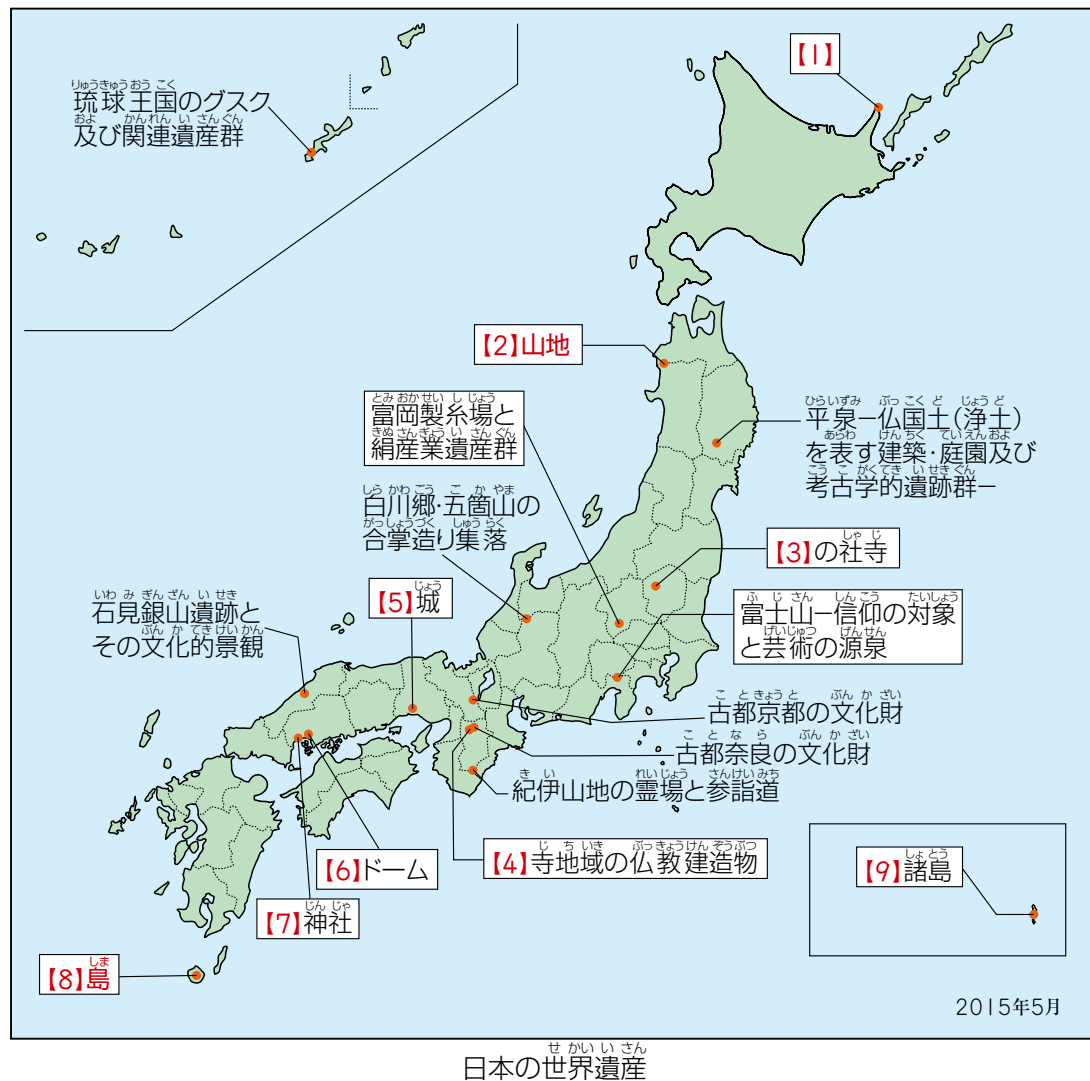
ポイント 気候区分ごとの特徴を知っておこう！

- 北海道の気候…年間を通して気温は低く、降水量は少ない。
- 南西諸島の気候…年間を通して気温は高く、降水量は多い。
- 太平洋側の気候…夏は降水量が多く、むし暑い。冬の降水量は少ない。
- 日本海側の気候…夏は暑く、晴れた日が多い。冬の降水量は多い。
- 中央高地の気候…年間を通して降水量が少なく、夏と冬の気温差が大。
- 瀬戸内海の気候…年間を通して晴れた日が多く、降水量は少なく温暖。

入試ではここが問われる！

- 日本地図に示された都市に対応する雨温図を選ぶ問題が出されます。

日本の世界遺産はどこにあるのでしょうか。また、自然保護の取り組みはどのように進められているのでしょうか。見ていきましょう。



世界遺産とは、世界遺産リストに登録されている、人類共通のかけがえのない財産として、将来の世代に引きついでいくべき自然や文化財のことです。

現在、日本には4件の世界自然遺産（自然遺産）と14件の世界文化遺産（文化遺産）があります（2015年5月）。自然遺産は北海道の【1】、青森県・秋田県の【2】山地、東京都の【9】諸島、そして鹿児島県の【8】島です。一方、文化遺産は近畿地方や中国地方を中心に、多くの地方に分布しています。【3】東照宮（栃木県）、【4】寺（奈良県）、【5】城（兵庫県）、【7】神社（広島県）、

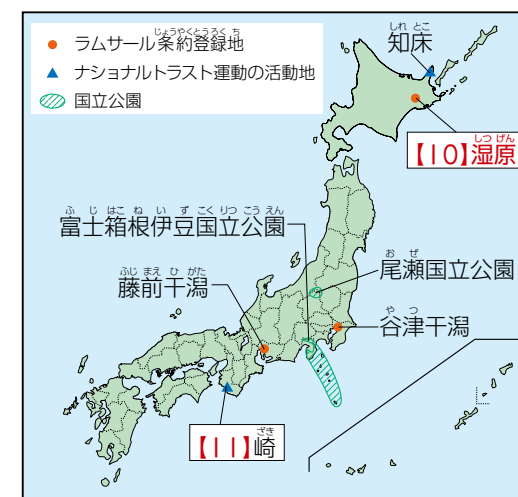
【6】ドーム（広島県）などが文化遺産として挙げられます。

複数の府・県にまたがる世界遺産（2015年5月）

世界遺産	府・県
白神山地	青森県・秋田県
白川郷・五箇山の合掌造り集落	岐阜県・富山県
古都京都の文化財	京都府・滋賀県
富士山－信仰の対象と芸術の源泉	山梨県・静岡県
紀伊山地の霊場と参詣道	三重県・奈良県・和歌山県

日本には、水鳥の生息地となる湿地の保護を目的とするラムサール条約にもとづく登録地が数多くあります。登録地としては、北海道の【10】湿原のほか、大都市の近くにある谷津干潟（千葉県）や藤前干潟（愛知県）などが有名です。

すぐれた自然を保護するために、日本全国に数多くの国立公園が設けられ、国が管理しています。国立公園には、富士箱根伊豆国立公園のように、複数の都府県にまたがっているものが数多くあります。また、みんなで資金を出して土地などを購入し、環境や景観を守るナショナルトラスト運動の活動地として、【11】崎（和歌山県）や知床（北海道）などが知られています。



ラムサール条約の主な登録地など

ポイント 世界自然遺産と世界文化遺産に分けて整理しよう！

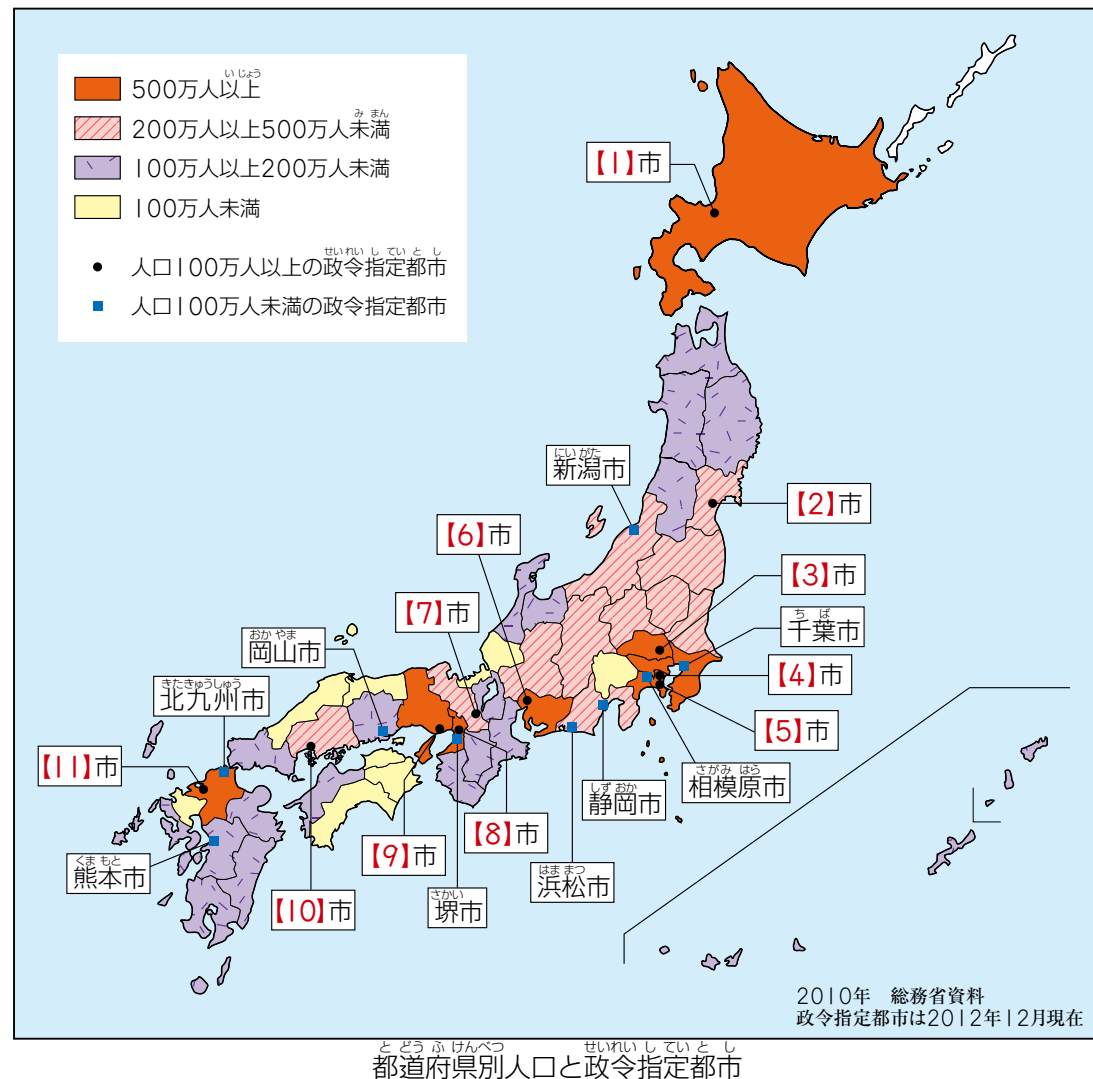
- ・世界自然遺産…知床・白神山地・小笠原諸島・屋久島
- ・世界文化遺産…姫路城・厳島神社など

入試ではここが問われる！

- ・説明文を読み、該当する世界遺産などを地図上の記号から選ぶ問題が出されます。
- ・ある都道府県を説明する文中に世界遺産などを登場させ、その都道府県を地図中から選ぶ問題が出されます。
- ・説明文とともに分布図などが示され、「ラムサール条約」「ナショナルトラスト運動」といった語句を答える問題が出されます。

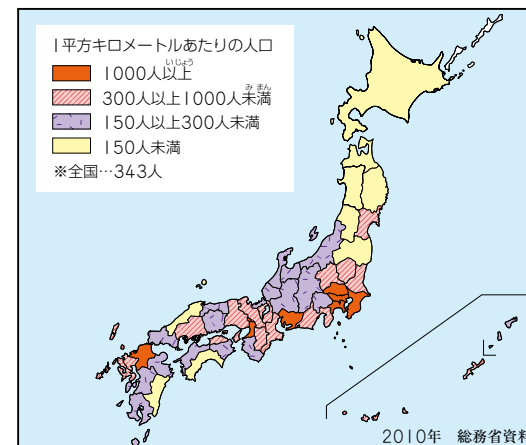
9 都市と人口

日本は人口密度が高い国であり、多くの大都市があります。一方、高齢化や過疎の問題に直面している地域もあります。都市と人口を地図で見えていきましょう。

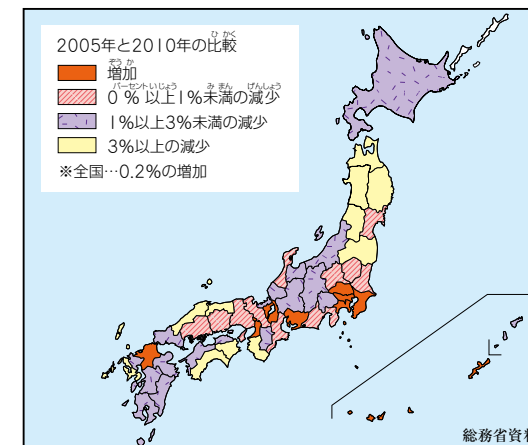


人口が多い都道府県や【12】は、東京・名古屋・大阪の三大都市圏がある関東・中部・近畿地方に集中しています。一方、東北・中国・四国・九州地方で、地方の中心となっている県以外の県の人口は少ない傾向があります。

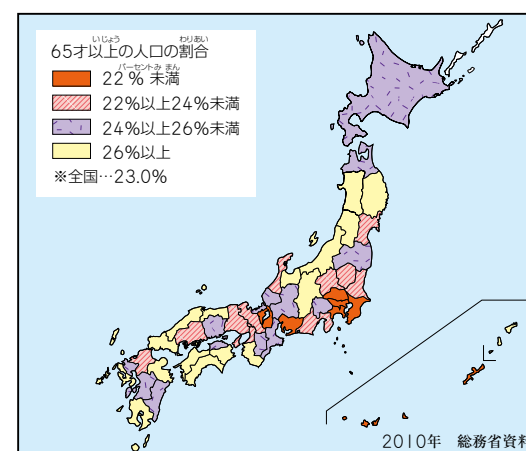
【12】とは、政令により、道府県と同等の行政を行ってよいとされた都市です。制度が始まったころは、各地方の中心都市や三大都市圏にある人口100万人前後の都市ばかりでしたが、平成の大合併の特例として条件が緩和され、静岡市・岡山市・熊本市など、人口70万人程度の都市も指定を受けています。



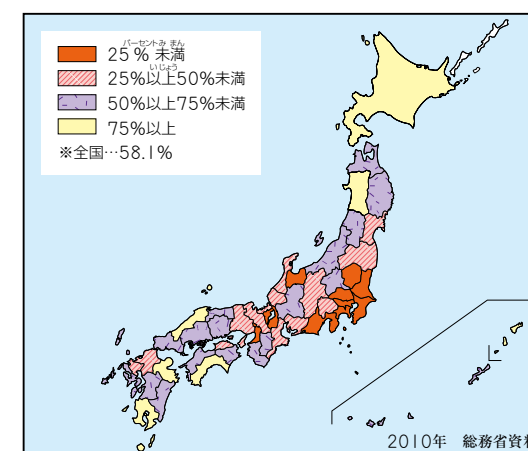
都道府県別人口密度



都道府県別人口増減率



都道府県別高齢化率



都道府県別過疎地域の面積の割合

近年の日本の主な人口問題は、都市の過密と、地方の過疎、地方を中心とした全国的な少子高齢化です。特徴的なポイントは以下のとおりです。

- ・【13】県…人口減少率1位（2010年）・高齢化率1位（2010年）。
- ・【14】県…大阪府・京都府のベッドタウンとして人口が増加している。
- ・【15】県…【13】県にぬかれるまで、高齢化率1位だった。
- ・【16】県…出生率が高く、人口が増加している。

ポイント 大まかな傾向を覚えよう！

- ・人口が多く、さらに増加傾向…東京・名古屋・大阪の三大都市圏
- ・人口減少率が高く、高齢化率も高い…東北・中国・四国・九州地方

入試ではここが問われる！

- ・政令指定都市はさまざまな角度から問われます。
- ・人口に関する統計や地図から、都道府県を判定する問題が出されます。